

# 能登半島へのアクセス確保

2/13 7時00分時点  
国土交通省 道路局

## (主な対応状況)

- 1/2
  - 北陸道などの高速道路(NEXCO・公社管理)の通行止め解除
  - 能登半島へのアクセス道路の緊急復旧に着手
  - 普通車について、輪島・珠洲市までアクセス確保(大型車について、1/4確保)
- 1/9
  - 緊急復旧により、半島内の幹線道路の約8割が通行可(1/15 約9割まで進捗)
- 1/14
  - 総理大臣の指示を受け、権限代行に関する調整に着手
- 1/23
  - 国が石川県に代わり本格的な災害復旧を代行することを決定

- : 能越自動車道・のと里山海道
- : 交通規制区間(一方通行・速度規制)
- : 通行止め区間
- : 奥能登2市2町への主要ルート(一般道)

## 権限代行区間:

国道249号の沿岸部

のと里山海道を含む  
能越自動車道の  
石川県管理区間

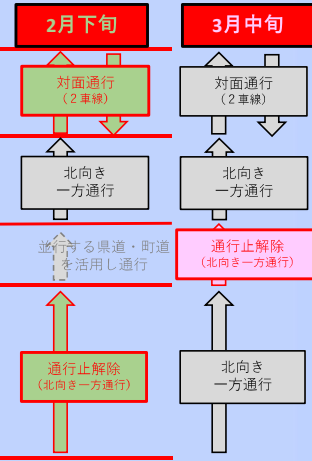
通行可  
(一方通行・40km/h規制)

緊急車両等のみ通行可  
(一方通行・40km/h規制)

北向きは  
緊急車両等のみ通行可  
(40km/h規制)



## 能越自動車道・のと里山海道 通行止め解除の当面の見通し



## 被災状況 能越自動車道・のと里山海道

- 写真① 能越道(のと里山空港IC~穴水IC)
- 写真② のと里山海道(穴水IC~別所岳SA)
- 写真③ のと里山海道(別所岳SA~横田IC)



○七尾市(徳田大津)からの所要時間

2/10 (9時台発)	穴水町 約2時間	輪島市 約2.5時間	珠洲市 約3時間
2/11 (9時台発)	穴水町 約1時間	輪島市 約1.5時間	珠洲市 約2時間
2/12 (9時台発)	穴水町 約1時間	輪島市 約1.5時間	珠洲市 約2間



緊急復旧(道路啓開)の  
状況や交通状況等を、  
web地図上で閲覧できる  
「道路復旧見える化マップ」  
を公表(1月12日より)

二次元コードは  
↓コチラ



URL : <https://www.mlit.go.jp/road/r6noto/index2.html>



# 令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年2月13日(火) 7時00分時点  
国土交通省・石川県

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、11方向で通路を確保。
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。

## 主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約9割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割 ⇒	約8割 (迂回路を考慮:約9割)
沿岸部への到達 ※2	6方向 ⇒	11方向

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所、※2: 内陸側・海側の両方

## 孤立地区数の推移※3

1月5日8時	33地区 (最大3,345人)
2月5日16時	実質的に解消 (1地区5人)※4

※3: 内閣府防災資料より  
※4: 輪島市大屋・避難の意向なし

## 生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧状況※5

優先復旧の要望数	43箇所
うち完了数	31箇所(約7割)

※5: 水道、電力、通信、放送事業者より聞き取り



金沢から穴水方向のみ通行可 ※一般車両通行止め  
のと里山海道 柳田ICから横田IC間北向き一方通行



### 凡例

- 国交省対応 (走行可能)
- 県対応 (走行可能・その他でも作業を実施)
- 自衛隊対応 (走行可能)
- 自動車専用道路 (走行可能)
- ≡≡≡ 自動車専用道路 (走行不可)
- ✕ : 被災規模 大
- : 孤立集落 (内閣府防災資料)
- ★ : 国復旧業者作業箇所
- : 沿岸部への到達点





# 令和6年能登半島地震に伴う河川・海岸の対応状況等について

令和6年2月13日 12:00時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、5県（新潟、富山、石川、福井、長野）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所では施設の損傷等を確認、信濃川（しなのがわ）水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 県管理河川では、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）が管理する122水系554河川で点検完了。4県（新潟、富山、石川、福井）が管理する65水系110河川で施設の損傷等を確認、応急対策を順次実施中（石川県北部は継続中、他は実施済）。  
石川県管理の河原田川（かわらだがわ）水系河原田川、山田川（やまだがわ）水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川については土砂災害対策と一体となった本格的な復旧工事を権限代行等により国が実施中。山田川については流路確保工事中。
- ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷を確認。専門家（国総研）により、計測データや画像等を基にした遠隔指導に加え、1月11日にヘリにて現地入りし技術支援を実施。応急対策は実施済。
- 海岸では、全国の点検対象128海岸全てで点検完了。うち石川県管理の宝立正院（ほうりゅうしょういん）海岸、三崎（みさき）海岸等の10海岸において、堤防護岸の損壊等を確認。宝立正院海岸は、復旧工事を権限代行により国が実施中。他の海岸では、応急対策の実施方法を検討中。

河川の被害状況:  国管理  県管理  
 ダムの被害状況:  県管理  
 海岸の被害状況:  県管理

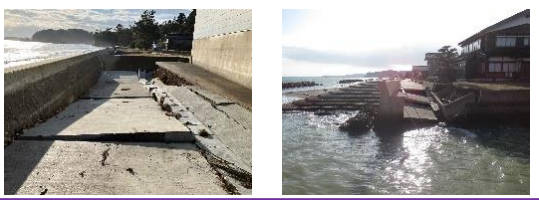
＜石川県管理河川＞  
49水系88河川 応急対策実施中



河原田川  
河原田川（かわらだがわ）水系河原田川（輪島市）  
河道埋塞 土砂災害対策と一体となった本格的な復旧工事を権限代行等により国が実施中

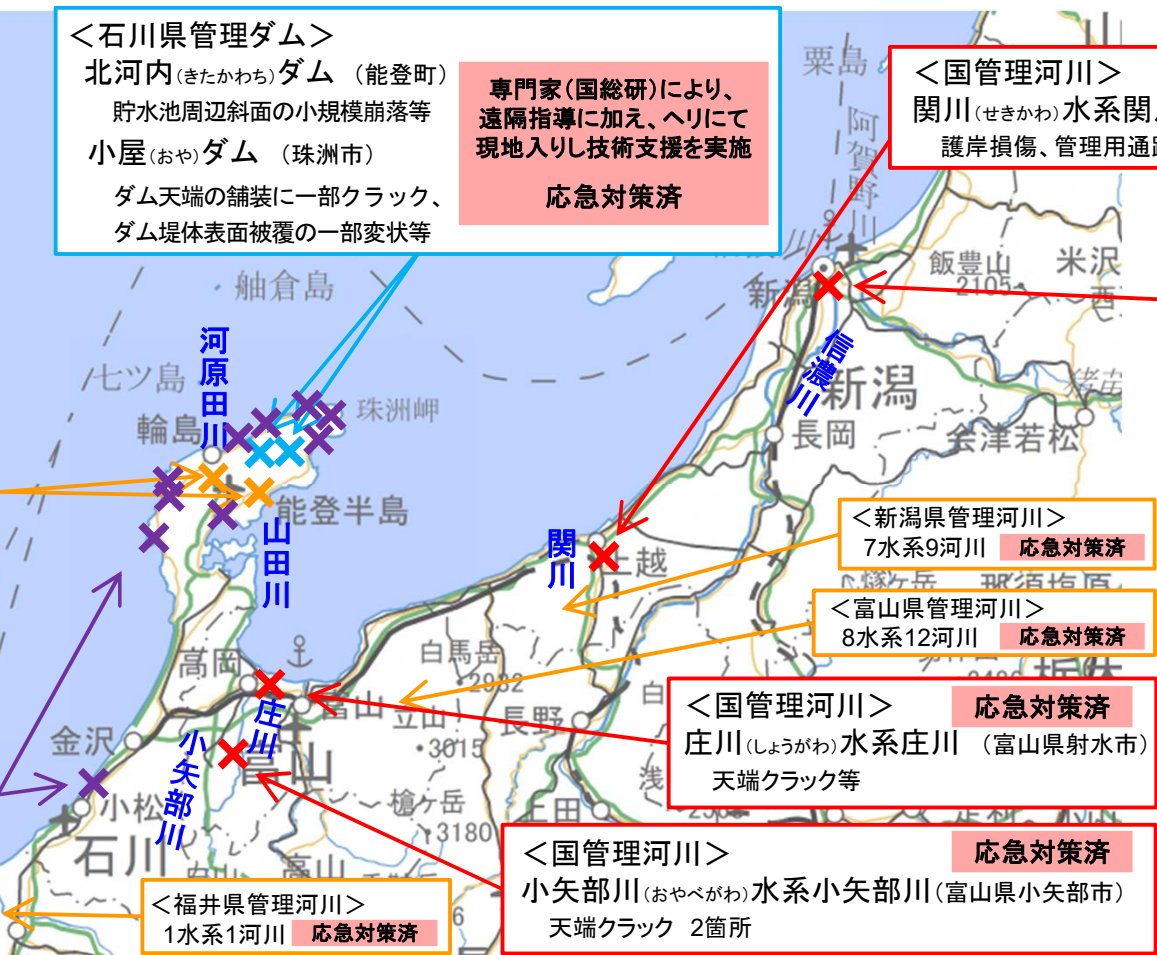
山田川  
山田川（やまだがわ）水系山田川（能登町）  
河道埋塞 流路確保工事中

＜石川県管理海岸＞  
10海岸 宝立正院海岸は復旧工事を権限代行により国が実施中(他の海岸では応急対策の実施方法を検討中)  
堤防護岸の損壊等



＜石川県管理ダム＞  
北河内（きたかわち）ダム（能登町）  
貯水池周辺斜面の小規模崩落等  
小屋（おや）ダム（珠洲市）  
ダム天端の舗装に一部クラック、ダム堤体表面被覆の一部変状等

専門家（国総研）により、遠隔指導に加え、ヘリにて現地入りし技術支援を実施 応急対策済



＜国管理河川＞  
関川（せきかわ）水系関川（新潟県上越市）  
護岸損傷、管理用通路クラック 3箇所 応急対策済



＜新潟県管理河川＞  
7水系9河川 応急対策済

＜富山県管理河川＞  
8水系12河川 応急対策済

＜国管理河川＞  
庄川（しょうがわ）水系庄川（富山県射水市）  
天端クラック等 応急対策済

＜国管理河川＞  
小矢部川（おやべがわ）水系小矢部川（富山県小矢部市）  
天端クラック 2箇所 応急対策済

＜福井県管理河川＞  
1水系1河川 応急対策済

＜国管理河川＞  
信濃川（しなのがわ）水系信濃川（新潟県新潟市、長岡市）  
堤防沈下、天端クラック等 10箇所 応急対策済



# 令和6年能登半島地震による土砂災害対応状況

○石川県にTEC-FORCEを派遣し、土砂災害発生箇所及び砂防関係施設等の調査を完了。  
 ○石川県では6河川(14箇所)で河道閉塞等を確認。国は県と連携し、TEC-FORCEによる調査や監視カメラを設置するなど、監視体制を構築し自治体にも監視映像を提供。  
 ○土砂災害発生箇所のうち、不安定な状態で斜面や溪流内に土砂・流木が堆積し、今後の降雨により二次災害が発生するおそれが高い、石川県河原田川、町野川及び国道249号の沿岸部において、国による緊急的な土砂災害対策を実施中。

①石川県輪島市熊野町



②石川県輪島市市ノ瀬町



● : 国による主な対応箇所



③石川県珠洲市仁江町



④石川県珠洲市清水町



土砂災害発生件数  
**331件**

【被害状況】

家屋被害：全壊	：52戸
半壊	：19戸
一部損壊	：14戸

石川県	300件
新潟県	18件
富山県	13件

※県から土砂災害として報告された数

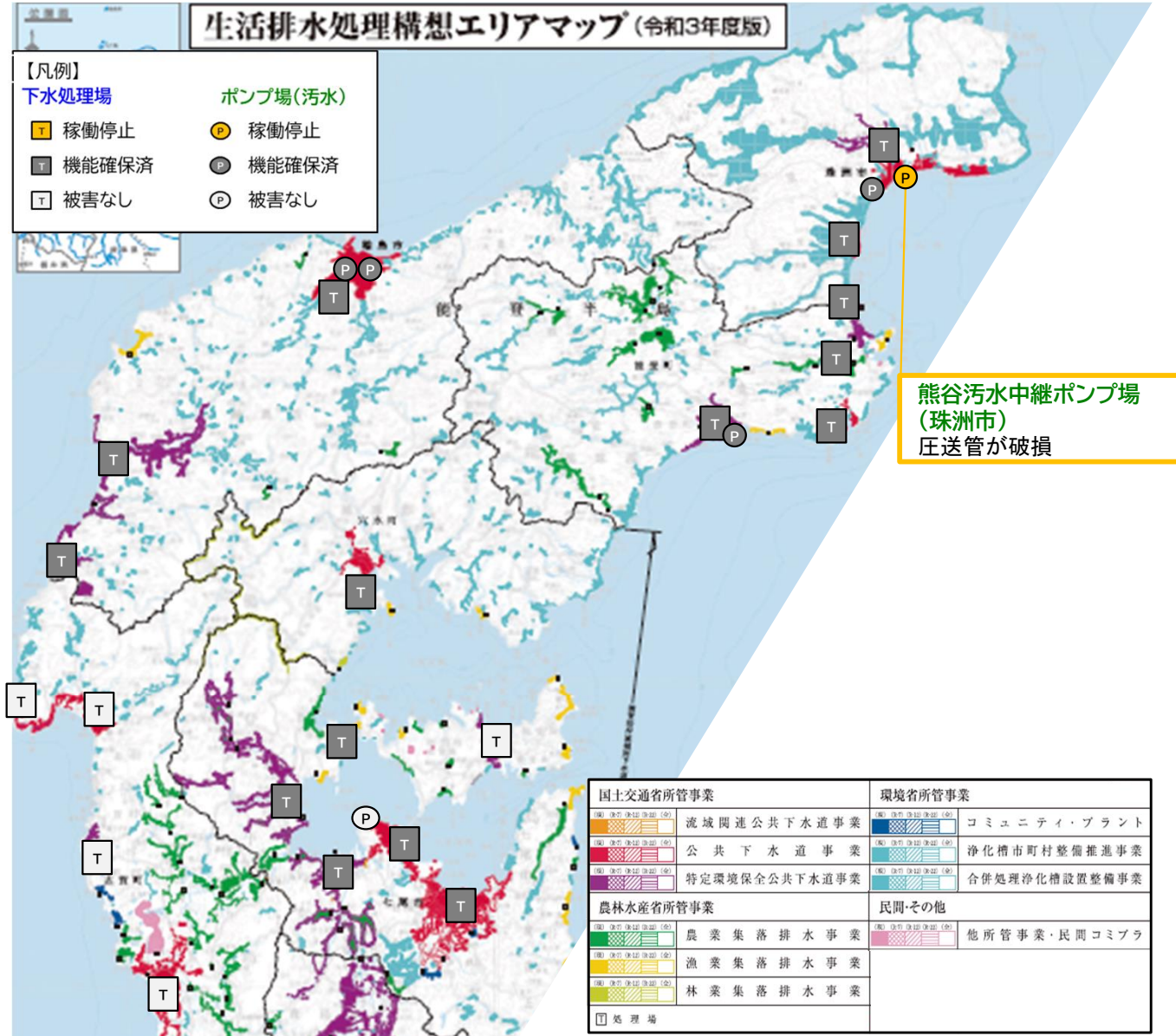
※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。



# 令和6年能登半島地震に伴う下水道施設の被害状況(石川県)

令和6年2月13日  
13:30時点  
国土交通省

- 特に被害の大きい能登地方6市町の下水道の復旧については、水道の復旧状況に遅れることがないように、上下水道一体となって早期復旧に向けた支援を実施(1/8～)
- 日本下水道事業団により、稼働停止の下水処理場、ポンプ場の緊急支援を実施(1/7～)



## ○下水道施設の復旧状況

	1/6 14:00時点	現在
下水処理場稼働停止	9箇所	⇒ 0箇所
ポンプ場稼働停止	4箇所	⇒ 1箇所

## ○下水道管路の状況

		1/22 12:30時点	現在
自治体名	全管路延長 (km)	被害なし・流下機能確保 (km)	
七尾市	231	153 ⇒	184 (80%)
輪島市	172	21 ⇒	80 (47%)
珠洲市	104	5 ⇒	10 (10%)
志賀町	148	135 ⇒	140 (94%)
穴水町	39	9 ⇒	15 (38%)
能登町	79	47 ⇒	52 (66%)
6市町計	773	369 ⇒	480 (62%)
石川県計	6,334	5,734 ⇒	5,994 (95%)

340km(内6市町293km)(流下機能の有無を確認中)  
 ※流下機能なしが確認された箇所では、バイパス管の設置などの応急対応により流下機能を確保する。

## 応急的な住まいの確保

### ○ 公営住宅等の空室提供

公営住宅：全都道府県にて約9,200戸確保  
入居決定戸数：約620戸（うち石川県内325戸）  
UR賃貸住宅：全国で300戸確保 ※高齢者からの生活相談に対応  
国家公務員宿舎：石川県内にて139戸確保  
（105戸について県に使用許可）

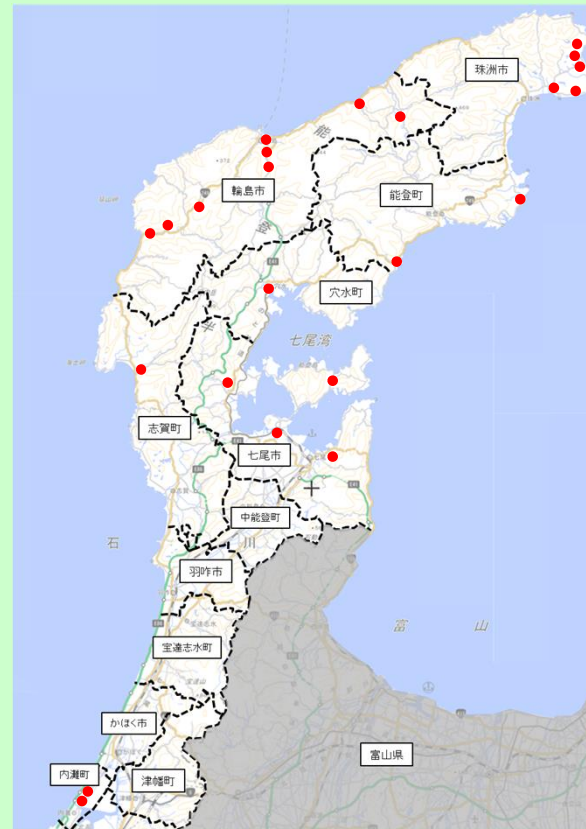
### ○ 賃貸型応急住宅（みなし仮設）

石川県内の提供可能戸数：約4,500戸  
入居決定戸数：1,500戸  
石川県から近隣県に転居する場合の提供可能戸数：  
新潟県：1,000戸、富山県：1,500戸、福井県：1,200戸

### ○ 建設型応急住宅

石川県：3月末までに約3,000戸着工の見通し

	七尾市	輪島市	珠洲市	内灘町	志賀町	穴水町	能登町	7市町
(着工日) 着工	(1/20~) 180戸	(1/12~) 923戸	(1/12~) 456戸	(1/31~) 34戸	(1/26~) 97戸	(1/15~) 256戸	(1/15~) 210戸	<u>2,156戸</u>
完成 (完成日)	-	18戸 (1/31)	40戸 (2/6)	-	-	-	-	<u>58戸</u>



※地図には2/8までに着工した団地のみを表示

### 建設型応急住宅の立地



プレハブ住宅（設置例）



木造仮設住宅（設置例）



ムービングハウス（設置例）



トレーラーハウス（設置例）

## 恒久的な住まいの確保

- 住宅金融支援機構の災害復興住宅融資制度
- 自力での再建等が困難な被災者への公営住宅の整備

- 被災住宅の補修等に関する電話相談を受け付けるフリーダイヤルを開設  
『令和6年能登半島地震による被災住宅補修等相談ダイヤル』0120-330-712
- 被災自治体にて被災住宅に関する専門家の相談窓口を開設
- 「住まい再建事業者検索サイト」にて被災した住宅の補修工事等が可能な事業者を情報提供
- 公営住宅等の空室提供と賃貸型応急住宅の提供に係る問い合わせ先等を情報提供



# 令和6年能登半島地震の影響による鉄道の状況について

## A のと鉄道 七尾線(33.1km)

- 運休区間:七尾駅～穴水駅間(全線) 和倉温泉駅～能登中島駅間は、2月15日(木)から運転再開予定<sup>※1</sup>  
能登中島駅～穴水駅間は、4月上旬の運転再開を目指してJR西日本において復旧工事中<sup>※1</sup>
- 1月9日～10日 現地調査実施(合計12名):TEC-FORCE 5名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE) 7名
- 1月18日～ TEC-FORCE 3名を のと鉄道に派遣・常駐。- 復旧作業支援のための連絡調整等
- 1月29日～ 七尾駅～穴水駅間で、代行バスを運行中<sup>※2</sup>(2月15日からは能登中島駅～穴水駅間で運行予定<sup>※1</sup>)

## B JR西日本 七尾線(59.5km)

- 運休区間:七尾駅～和倉温泉駅間(5.1km) 七尾駅～和倉温泉駅間は、2月15日(木)から運転再開予定<sup>※1</sup>
- 1月11日 現地調査実施:TEC-FORCE 5名

※1 2月9日 のと鉄道、JR西日本より発表  
※2 1月26日 のと鉄道より発表

### 【事業連携による早期鉄道復旧に向けた取り組み】

- ・1月19日 鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議(省内関係局、鉄道事業者)を開催
- ・1月25日 鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する地方連絡調整会議(北陸地整局、北信運輸局、石川県、鉄道事業者等)を開催
- ・2月 1日～ 線路内への土砂流入箇所への進入路盛土材に道路復旧用砕石を活用し、土砂・倒木撤去作業を実施(写真A②、A③)

- 1月15日以降に再開した路線
- ・JR西日本 七尾線(高松駅～羽咋駅間) (15日始発から)
- ・JR西日本 七尾線(羽咋駅～七尾駅間) (22日始発から)

— : 運休区間  
— : 再開区間

### 【のと鉄道】



※A①、A②の写真はのと鉄道提供



### JR七尾線



※A③、A④、B①～B⑥の写真はJR西日本提供



# 令和6年能登半島地震による港湾・港湾海岸の現況と対応方針


2月13日10:00時点

- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請により、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、1月2日より港湾法に基づき、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施している。
- また、石川県、富山県、七尾市からの要請により、上記6港に伏木富山港、和倉港を加えた計8港2海岸について、大規模災害復興法に基づく代行復旧により、「海上支援物資輸送拠点」「生業再開支援拠点」「建設資材供給拠点」「再度災害防止」の各方針に沿って、本格的な復旧作業を迅速に進める(2月1日決定)。

**輪島港** (最大水深7.5m、延長220m) 石川県管理

**応急復旧** 1岸壁が利用可能

【主な利用条件と対応状況】  
 ・地震による地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。  
 →水深6mの岸壁として運用。  
 ・岸壁の背後に最大2mの段差が発生。  
 →応急復旧で車両のアクセス経路を確保済。



応急復旧の状況(1/5)

**本格復旧方針** **代行復旧**

- 海上支援物資輸送拠点
- 生業再開支援拠点
- 再度災害防止

→水深7.5mを確保して岸壁を復旧

**小木港** (最大水深5.0m、延長160m) 石川県管理

**応急復旧** 5岸壁中4岸壁が利用可能  
水深4.5m岸壁×4

【主な利用条件と対応状況】  
 ・一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている。  
 →当面、水深3.5m程度の物揚場として運用。

**本格復旧方針** **代行復旧**


- 建設資材供給拠点

→水深5.0m、4.5mの岸壁を復旧

**飯田港・飯田港海岸** (最大水深5.5m、延長100m) 石川県管理

**応急復旧** 2岸壁中1岸壁が利用可能  
水深4.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】  
 ・航路内に小型船が沈没しているため、航行時に注意が必要。  
 →泊地内の沈没船の撤去一部完了。  
 引き続き浚渫作業実施中。  
 ・アクセス経路にうねりが生じている。  
 →応急復旧を実施し、作業完了。



応急復旧の状況(1/9)

**本格復旧方針** **代行復旧**

- 海上支援物資輸送拠点
- 生業再開支援拠点
- 再度災害防止

→水深5.5m、4.5m、4.0mの岸壁を復旧  
→防波堤・海岸保全施設等を復旧

**宇出津港** (最大水深4.0m、延長205m) 石川県管理

**本格復旧方針** **代行復旧**

- 建設資材供給拠点

→水深4.0mの2岸壁を復旧

**穴水港** (最大水深4.0m、延長187m) 石川県管理

**本格復旧方針** **代行復旧**

- 建設資材供給拠点


→水深4.0mの2岸壁を復旧

**和倉港・和倉港海岸** (最大水深3.0m、延長60m) 七尾市管理

**本格復旧方針** **代行復旧**

- 生業再開支援拠点

→海岸保全施設等を復旧



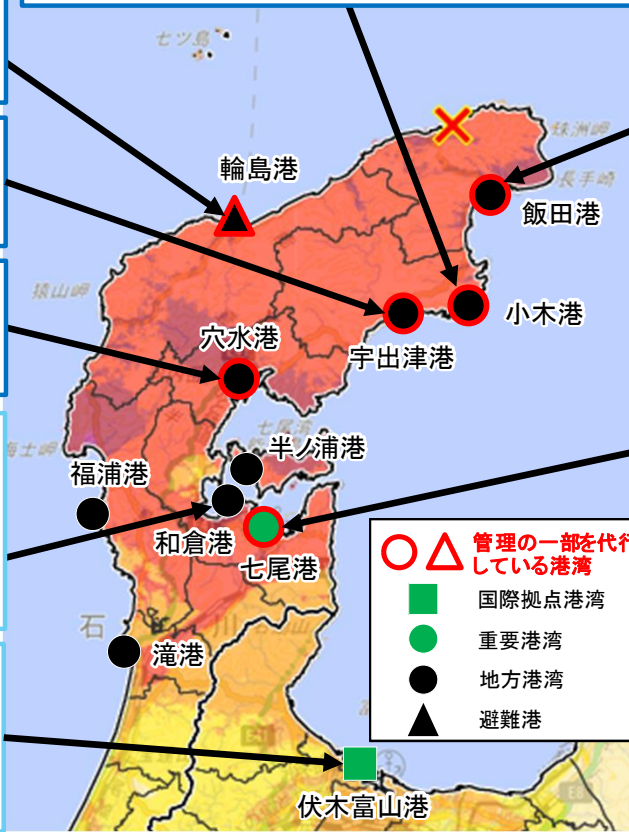
応急復旧の状況(1/25、市施工)

**伏木富山港** (最大水深14.0m、延長280m) 富山県管理

**本格復旧方針** **代行復旧**

- 生業再開支援拠点


→国有の岸壁・臨港道路を復旧  
→主要な県有の施設を復旧



**七尾港** (最大水深11.0m、延長260m) 石川県管理

**応急復旧** 8岸壁中3岸壁が利用可能  
水深11.0m岸壁

【主な利用条件と対応状況】  
 ・液状化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。  
 →応急復旧を実施し、車両の走行経路を確保済。



応急復旧の状況(1/12)

水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】  
 ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない。  
 (一般車両は走行可能)  
 →回復には抜本的な復旧工事が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用。

**本格復旧方針** **代行復旧**

- 海上支援物資輸送拠点
- 再度災害防止

→国有の水深11m、10m、9mの岸壁を復旧  
→県有の水深7.5m、5.5m×2の岸壁を復旧  
→海岸保全施設等を復旧



# 令和6年能登半島地震 能登空港の状況



- 発災翌日より、能登空港において救援ヘリコプターの受入れを開始
- また、TEC-FORCEの派遣により、自衛隊固定翼機受入れのための応急復旧や空港運用時間拡大等を支援し、災害救援活動の拠点として機能
- 並行して、民間航空機運航再開のための応急復旧を実施し、1/27より運航再開
- 大規模災害復興法の適用による権限代行により、国土交通省が本格的な復旧工事を実施

- これまでの経緯
- 1/2 ・救援ヘリの受入れ開始
  - 1/2～ ・空港施設の復旧支援のためTEC-FORCE職員を派遣
  - 1/3 ・滑走路の被災状況調査
  - 1/4 ・石川県発表
- ・ 仮復旧を施し、自衛隊機の離発着は数日後に可能となる見込み
  - ・ 民航機が運航可能となるのは早くとも3週間後(1/25)以降の見込み
- 1/9～ ・空港運用の支援のためTEC-FORCE職員を派遣
  - 1/10～ ・空港運用時間を拡大
  - 1/12～ ・自衛隊固定翼機が離着陸を開始
  - 1/27～ ・民間航空機運航再開
  - 2/1 ・大規模災害復興法の適用による権限代行を決定

**全日空の当面の運航計画**

※被災前は能登-羽田間を2往復/日 運航

- ・ **1/27より1往復/日 週3日(火・木・土)**にて運航再開
- 羽田10:30発→能登11:30着、能登13:50発→羽田14:55着



1/27 民航機運航時の様子



1/12 自衛隊輸送機による物資輸送

